

うつのみや



社協だより

平成31年4月20日発行

編集発行 172号

社会福祉法人
宇都宮市社会福祉協議会
宇都宮市中央1丁目1番15号
宇都宮市総合福祉センター内
電話 028-636-1215(代)
FAX 028-638-9856
<http://www.utsunomiya-shakyo.or.jp>

宇都宮市社会福祉協議会 検索

平らなところと石のきずな 安心と笑顔あふれるまちづくり

「平石地区 福祉のまちづくり計画」を策定しました!



▲計画策定推進委員会の様子



▲完成した福祉のまちづくり計画

～「福祉のまちづくり計画」とは～

地域の支えあい・助けあいの力を今まで以上に伸ばし、誰もが安心して暮らし続けることができる“福祉のまち”にすることを目指し、住民一人ひとりが、そして地域全体が、これからどのようなことに取り組んでいくかをまとめたものです。



～平石地区のこれから～

今年度から計画の推進段階となります。
“福祉のまち”の実現に向けて、頑張ります!

～平石地区の主なあゆみ～



- ・平成27年 8月～地区福祉マップ作成
- ・平成28年11月 計画策定推進委員会立ち上げ
- ・平成29年 8月～アンケート実施(回収率9割!)
- ・平成30年12月 計画説明会 兼 意見交換会
- ・平成31年 1月～計画完成後、周知
- ・平成31年 4月 計画推進

“うつのみや社協だより”は、**回 覧** です。よろしくお願い申し上げます。

サロン

大曾三区自治会サロンひまわり（東地区）

～アットホームな雰囲気、みんなで楽しむサロン～



サロン情報

開催日時：毎月第1金曜日 午前10時～午後2時※昼食から自由参加
 場所：東地域コミュニティセンター
 代表者：岩淵 照美子さん（福祉協力員連絡会 会計）
 立ち上げ動機：健康の集いとして年3回、地域で集まりを持っていました。平成25年から東地区でサロンの立ち上げを進め、福祉部・女性部・環境部で設立しました。



実施内容

◆スケジュール
 体操、お茶休憩、お楽しみ企画、昼食、塗り絵
 ◆お楽しみ企画
 マンドリン、絵手紙、合唱、手品、フラダンス、折り紙、染め物、お花見、歴史散歩、映画会 など
 ※地元のボランティアで実施しています

高齢化率が最も高い東地区

高齢化率が30%を超える東地区は、地元で生まれ育った方が多く、昔から地域で支えあう仕組みがあるので、サロンでは運営スタッフも一生懸命活動し、参加者も一緒になって楽しむ、アットホームな雰囲気があります。



▲地元のそば打ちグループによる食事

サロンのアピールポイント

- ・メンバーが新たな参加者を誘うことで、さらにメンバーが増え、平均30人以上の参加があります。
- ・夏休みには子ども達とも交流しています。
- ・昼食は各自持参するか注文をとるなど、自由参加にしています。そのほか、カレーや手打ちそばなどをみんなで食べ、楽しいひとときを過ごしています。



▲毎回、伴奏に合わせて楽しく体操

福祉協力員

昭和地区

すずき ともこ

鈴木友子さん（戸祭台自治会）



活動年数：5年目（福祉協力員連絡会委員、元自治会副会長）
 活動内容：福祉協力員連絡会、ふれあい会食事業、地区敬老会、歳末たすけあい事業、近隣の方への声かけや見守り活動、昭和フェスティバルなど



〈鈴木さん〉

様々な活動により、戸祭台自治会はとても元気です！

戸祭台自治会では、福祉協力員の他に悠友会（老人クラブ）が活発に活動し、ふれあい・いきいきサロンや、児童下校のパトロール、8つのサークル活動やヨガなどに参加して、皆さんとても元気です。住民の孤独感解消につながり、大変ありがたいです。歳末事業では、クリスマスに地域の警察官による講話や、弦楽四重奏などを行い、とても好評でした。

昭和フェスティバルは、地区社協、自主防災会、交通安全推進協議会、連合自治会の共催で開催し、今後もより多くの方に来ていただけたらと思っています。



▲警察官による特殊詐欺講話

次世代へのバトンタッチに向けて…。

福祉協力員の任期は2年ですが、なかなか後任が決まりません。高齢化しつつある中で、福祉協力員の確保が難しい時代です。隣近所の声かけが見守りになりますので、福祉協力員以外の皆さまからも一声の挨拶をお願いしたいと思います。



▲地元住民による弦楽四重奏

紹介コーナー

緑四丁目「緑四いきいきサロン」（陽光地区）

～自由な雰囲気居場所から地域の輪を広げる～

★ サロン情報

開催日時：毎月第2・4 金曜日 午前10時～正午
 場 所：陽光地域コミュニティセンター
 代 表 者：佐藤 孝さん（地区社協）
 立ち上げ動機：陽光地区にサロンがなかったので、自分たちの地域にみんなの居場所を作ろうと立ち上げました。

★ 実施内容

- ・ピアノ演奏による歌
- ・トランプ、オセロ、ウノ
- ・健康マーじゃん
- ・茶話会 など

陽光地区で第1号のサロン！

陽光地区ではサロンの取り組みがなかったので、我が地域にもサロンを作ろうと、始めは老人クラブや地域の仲間で相談し、平成30年4月にサロンを開所しました。
 もともと自治会福祉部の活動が活発な地域ということもあり、サロンも自治会・民生委員・福祉協力員・老人クラブと一緒に盛り上げています。



▲俳句の名人は御年92歳！

サロンのアピールポイント

健康マーじゃんのほかトランプなどのゲームで、それぞれに自由な時間を過ごしています。お茶はセルフサービスで、気楽に気兼ねなくおしゃべりも楽しんでいます。時には、料理自慢の方がちょっとした料理でおもてなししたり、御年92歳の先輩が得意の俳句でワンポイント講座を開いたり、みんなでサロンの楽しみを見つけています。



▲トランプなどのゲームで和気あいあい

紹介コーナー

今泉地区

なんぐもとよこ いしかわゆりこ
南雲トヨ子さん・石川百合子さん
 (今泉南自治会) (今泉南自治会)

活動年数：南雲トヨ子さん/20年目 石川百合子さん/8年目
 活動内容：ふれあいいきいきサロンの運営、ふれあい会食会の運営、敬老会など地域の行事への協力、近隣の方への見守りや声かけ など



〈南雲さん・石川さん〉

工夫を凝らしたふれあい会食会

季節を意識した献立を心がけるとともに、ひとり暮らしの方は普段の食事でも多くの品目を取り入れるのが難しいかと思うので、できるだけたくさんの方々の食材を使用するようにしています。その甲斐があつてか、参加される方々にとても好評で、「楽しみにしているよ」「いつもありがとう」などの言葉をいただき、私たちもとても嬉しく感じています。



▲にぎやかな会食会



▲笑顔あふれるサロン

福祉協力員の活動を通して

地域の方々の楽しみとなるようなサロンなどの場づくりを心がけることで、家にこもりがちなる方も外出する機会が増え、それが明るく活力ある地域づくりにも繋がると考えています。
 日頃の活動は些細なことしかできませんが、それでも地域の方々が喜んでくださることはとても嬉しいですし、活動を続ける大きな力となっています。自分自身も楽しみながら活動することも大切ではないかと思えます。

平成31(2019)年度 宇都宮市社会福祉協議会 事業計画・予算



3月6日開催の理事会、3月22日開催の評議員会において、平成31(2019)年度の事業計画及び収支予算が承認されました。

本会では、「第4次宇都宮市地域福祉活動計画」に基づき、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる「ともに支えあい助けあう“向こう三軒両隣型”の地域共生社会」の構築を目指し、地域福祉推進の中核的組織として、地域の様々な福祉課題に向き合い、行政や関係機関・団体等と協力しながら、より一層の地域福祉の発展に尽力してまいります。

● 事業計画

1. 福祉のこころをはぐくむづくり

(1) バリアフリーやノーマライゼーションへの理解を深める

福祉共育の支援

- ① 出前福祉共育講座の充実
- ② 地区福祉まつり支援の充実
- ③ 宇都宮市民福祉の祭典支援の充実
- ④ やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実

(2) 気軽に参加・参画できるボランティア活動の充実

- ① 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の推進
- ② ボランティア養成の充実(7P参照)

③ 善意銀行事業の促進

- ④ 宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の推進【市受託事業】

⑤ 宇都宮市民福祉の祭典支援の充実(再掲)

(3) 幅広い世代が地域で活躍できる機会づくり

- ① ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の充実
- ② 地区福祉まつり支援の充実(再掲)
- ③ ふれあいいいききサロン事業の推進

2. 安心して暮らせる福祉の基盤づくり

(1) 地域福祉・ボランティアなどに関する情報発信の強化

- ① 地域福祉に関する広報・周知・啓発等情報発信の充実

(2) 生活・福祉に関する相談支援体制の充実

- ① 日常生活自立支援事業【県社協受託事業】
- ② 法人後見事業の実施
- ③ 総合相談センター事業の充実
- ④ 生活困窮者自立相談支援事業の推進【市受託事業】

⑤ 地域包括支援センター事業の充実【市受託事業】

地域包括支援センター御本丸・上河内地域包括支援センター

⑥ 障がい者生活支援センター事業の実施【市受託事業】

(3) 地域福祉推進のための施設や人材、情報などの活用による福祉の基盤づくり

- ① 地域における包括的な福祉の仕組みづくりの支援【新規】

3. 共に支えあう地域社会づくり

(1) 身近な地域の中での住民相互の支えあい助けあい活動の充実

- ① 福祉協力員制度の推進
- ② 安心・安全情報キット配付事業の推進
- ③ 老人クラブ支援の充実
- ④ ファミリーケアサービス事業の充実
- ⑤ 地域の子どもたちへの地域福祉事業の検討【新規】

(2) 身近な地域の中での多様な居場所づくり

- ① ふれあいいいききサロン事業の推進(再掲)
- ② 地域の福祉施設などを活用した、地域住民の交流の促進【新規】

(3) 将来を見据えた地域における福祉の基盤づくりの支援

- ① 福祉のまちづくり計画(小地域福祉活動計画)の策定
- ② 福祉協力員制度の推進(再掲)
- ③ ふれあいいいききサロン事業の推進(再掲)
- ④ 地域における包括的な福祉の仕組みづくりの支援(再掲)

4. 自主財源の確保

- ① 社会福祉協議会会員制度の充実
- ② ぎんなん基金事業の充実

5. 指定管理施設の管理・経営

- ① 老人福祉センター(5施設) ことぶき会館・ふれあい荘・やすらぎ荘・すこやか荘・上河内老人福祉センター
- ② 地域活動支援センター(3施設) 雀の宮作業所・若草作業所・障がい者福祉センター
- ③ 総合福祉センター(2施設) 宇都宮市総合福祉センター・河内総合福祉センター

6. 介護保険事業等の推進

- ① 介護保険事業の推進
 - ・ 居宅介護支援事業所の運営(介護保険サービス)
 - ・ 訪問介護事業所の運営(介護保険サービス)
 - ・ 居宅介護事業所の運営(障がい福祉サービス)
 - ・ 通所介護事業所の運営(介護保険サービス)
- ・ 生活介護事業所の運営(障がい福祉サービス)
- ② 地域包括支援センター事業の実施【市受託事業】(再掲)
 - 地域包括支援センター御本丸・上河内地域包括支援センター
- ③ 指定特定相談支援事業所・指定障がい児相談支援事業所の運営(障がい福祉サービス等利用計画作成)

7. 在宅福祉サービス事業の推進

- ① 車いすなど福祉機器貸出事業の推進
- ② 福祉理美容サービス事業の推進
- ③ ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進
- ④ 福祉機器・介護用品展示室の開設
- ⑤ 福祉車両貸出サービス事業の実施
【2019.9月末事業廃止】

8. その他の受託事業の実施

- ① 日中一時支援事業(3施設)【市受託事業】
・あっとほーむ うだいすすめかわち
- ② 障がい者福祉バス事業【市受託事業】
- ③ 奉仕員養成講座(手話・点訳・音訳)【市受託事業】
- ④ 意思疎通支援事業【市受託事業】
- ⑤ 移動支援事業【市受託事業】
- ⑥ 生活福祉資金等貸付事業
臨時特例つなぎ資金事業【県社協受託事業】



9. その他の事業の推進

- ① 敬老会事業の推進
- ② 男性高齢者調理講習会事業の推進
- ③ 社会福祉資金貸付事業の管理

収支予算

(1) 社会福祉事業

①法人運営	234,485 千円
②福祉活動推進事業	42,172 千円
③ボランティアセンター事業	42,986 千円
④総合相談センター事業	4,121 千円
⑤権利擁護・成年後見センター事業	15,579 千円
⑥がんなん基金事業	6,332 千円
⑦善意銀行事業	965 千円
⑧共同募金配分金事業	36,925 千円
⑨生活福祉資金貸付事業	7,264 千円
⑩社会福祉資金貸付事業	2,933 千円
⑪老人福祉センター	224,750 千円
⑫地域活動支援センター	51,410 千円
⑬障がい者福祉センター	37,308 千円
⑭宇都宮市総合福祉センター	78,189 千円
⑮河内総合福祉センター	54,469 千円
⑯訪問介護事業	31,496 千円

⑰通所介護事業	23,673 千円
⑱居宅介護支援事業	13,334 千円
計	908,391 千円

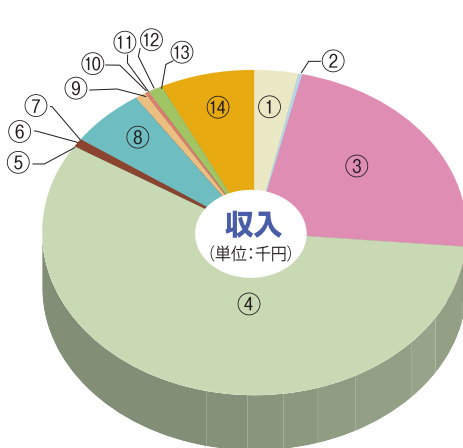
(2) 公益事業

①地域包括支援センター御本丸	38,645 千円
②上河内地域包括支援センター	28,941 千円
③障がい者福祉バス事業	9,277 千円
④障がい者生活支援事業	18,926 千円
⑤日中一時支援事業	18,707 千円
⑥生活困窮者自立相談支援事業	25,529 千円
⑦ファミリーケアサービス事業	8,526 千円
計	148,551 千円

総合計 1,056,942 千円

収入

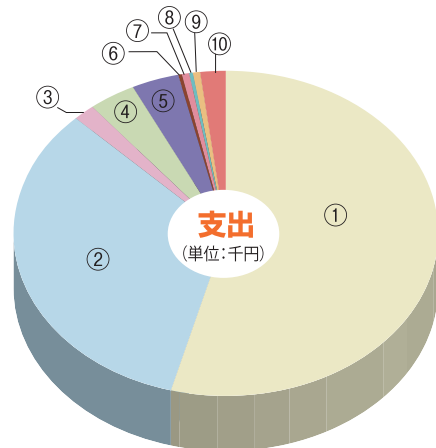
収入合計 1,056,942 千円



①会費収入	35,810 千円 (3.3%)	⑧介護保険事業収入	59,494 千円 (5.6%)
②寄附金収入	3,971 千円 (0.3%)	⑨障害福祉サービス等事業収入	
③経常経費補助金収入	9,781 千円 (0.9%)	⑩受取利息配当金収入	2,315 千円 (0.2%)
④受託金収入	607,091 千円 (57.4%)	⑪その他の収入	299 千円 (0.1%)
⑤貸付事業収入	18 千円 (0.1%)	⑫基金積立資産取崩収入	
⑥事業収入	11,106 千円 (1.0%)	⑬積立資産取崩収入	1 千円 (0.1%)
⑦負担金収入	50 千円 (0.1%)	⑭繰越金	76,081 千円 (7.2%)

支出

支出合計 1,056,942 千円



①人件費支出	573,881 千円 (54.3%)	⑧固定資産取得支出	2,865 千円 (0.3%)
②事業費支出	352,512 千円 (33.3%)	⑨基金積立資産支出	6,007 千円 (0.6%)
③事務費支出	17,336 千円 (1.6%)	⑩予備費	19,680 千円 (1.9%)
④共同募金配分金事業費支出	37,107 千円 (3.5%)		
⑤助成金支出	39,216 千円 (3.7%)		
⑥負担金支出	4,528 千円 (0.4%)		
⑦返還金支出	3,810 千円 (0.4%)		

ボラセン
情報コーナー



ボランティアセンターで行っている事業をご紹介します

福祉共育サポーター養成講座 を開催しました♪



講義「福祉共育とは何か?~これからの福祉共育~」



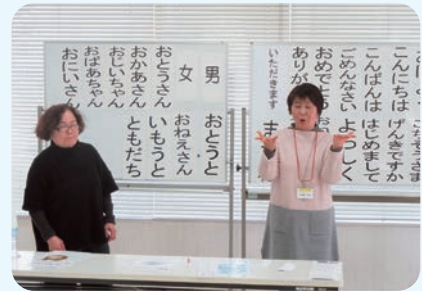
講義「学校で行われている福祉共育の現状と課題」



模擬授業 身体障がいの理解
(車いす介助体験)



模擬授業 視覚障がいの理解
(点字・アイマスク体験)



模擬授業 聴覚障がいの理解
(手話体験)

学校や企業等を対象に実施している「出前福祉共育講座」のアシスタントの育成を目的に開催しました。

講義では、福祉共育について理解を深め、「出前福祉共育講座」の講師たちによる模擬授業を体験し、アシスタントをする際のポイントや注意点などについて学んでいただきました。

平成30年度 福祉共育・ボランティア推進フォーラム

～オモイツタエル 3.11～

東日本大震災から丸8年が経ちました。震災の被害によって本県に避難している方々や、その支援活動を行っている方の話を聴くことで、日頃からの「支えあい」「助けあい」の大切さを改めて考え、福祉共育を推進する上で必要な相互理解を深めながら、ボランティア活動への参加を促進することを目的に、市内の学生を対象に開催しました。



▲支援活動体験「健康体操」



▲グループワーク「自分たちができること」



▲支援活動体験「クラフトかご作成」

平成31(2019)年度 ボランティア養成講座

平成31(2019)年度に開催予定のボランティア養成講座をご案内します。
講座の詳細や申込方法などは、随時「ボランティアセンターホームページ」
「広報うつのみや」などでお知らせしていきます。皆さまのご参加をお待ち
しています。



テーマで学んでみたい方

	講座名	内容	開催予定
1	災害福祉救援 ボランティア養成講座	近年、大規模自然災害等が全国各地で発生しており、今や災害はいつ私たちの身に降りかかるか分からない状況と言えます。日頃からできる減災対策や、災害ボランティアについて学ぶ講座です。(全5回予定)	6月頃
2	サマーボランティア スクール	高校生や大学生を対象とした、夏のボランティア体験講座です。仲間と出会い、喜びや感動を分かちあう夏の思い出づくりに参加してみませんか?(全2回予定)	7月～8月頃
3	傾聴ボランティア 養成講座	傾聴とは、相手の話を否定せずに受入し、心を傾けて聴くことです。傾聴の基本や技術などを、講義やロールプレイをとおして学ぶ講座です。(全4回予定)	9月頃

体験したい、知りたい方

	講座名	内容	開催予定
1	ぼらんていあSaturday ～聴覚障がいの理解～	「聞こえないってどんなこと?」 「手話を学ぼう」	7～8月頃
2	ぼらんていあSaturday ～視覚障がいの理解～	「視覚障がいについて学ぼう」 「点字・アイマスクを体験してみよう」	
3	ぼらんていあ Saturday ～発達障がいの理解～	「発達障がいってなんだろう?」 デモンストレーション、不自由体験 他	
4	ぼらんていあ Saturday ～精神障がいの理解～	「精神障がいってなんだろう?」 「精神保健ボランティアについて」	10月頃



善意銀行

ご協力ありがとうございました。
皆さまのあたたかい善意に心より感謝いたします。

使用済み切手やプルタブによる益金は、宇都宮市の地域福祉活動やボランティア活動の
推進・支援に活用させていただきます。

寄附順・敬称略

平成30年12月～平成31年2月

預託者名	預託品等	預託者名	預託品等
笠井 隆	プルタブ	栃木県中部郵便局長会(2回)	使用済み切手
さわやかすずめのみや	プルタブ	(公社)とちぎ環境みどり推進機構	使用済み切手
心の礎の会	まくら	㈱栃木銀行	プルタブ・使用済み切手・未使用切手
ミットヨ労働組合 宇都宮支部	プルタブ		使用済みプリペイドカード・お米
岡美容室	プルタブ・使用済み切手	テクノ産業㈱	プルタブ
下野川柳会	使用済み切手	宇都宮市立細谷小学校PTA	プルタブ
新家 政紀・綱川 ちよ子(3回)	プルタブ	田原小児童会	プルタブ
五家英子とみんなで楽しく踊ろう会 宇都宮支部	車いす1台	手塚 晴彦	使用済み切手
(有)清明建設	使用済み切手	日豊工業㈱	プルタブ
陸上自衛隊 宇都宮駐屯地 曹友会	10,000円	やしお会	使用済み切手
カルビー㈱ 新宇都宮工場(2回)	使用済み切手	王子工営関東㈱	使用済み切手
茂原西自治会	プルタブ	雀宮南小学校PTA	使用済み切手
㈱スステック	使用済み切手	アーバンスタッフ㈱	使用済み切手
沼子 典司(2回)	プルタブ	鈴木 繁男	プルタブ
東芝エレベータ㈱ 栃木支店	使用済み切手	宇都宮市立岡本西小学校	使用済み切手・未使用ハガキ
宇都宮まちづくりセンターまちびあ	使用済み切手	宮の内三光会	使用済み切手
パナソニックホームズ北関東㈱	使用済み切手・プルタブ	宇都宮マロニエライオンズクラブ	プルタブ・使用済み切手
大塚 淑子	プルタブ	金田 恵二	使用済み切手
邦和理工㈱	使用済み切手	フジエンジニアリング	プルタブ
三信電工㈱(2回)	使用済み切手	音訳ボランティア「ひびき」	使用済み切手
宇都宮ヤマイチ㈱	使用済み切手	パンピーニゆめ保育園	プルタブ他
高齢者等地域活動ポイント事業 参加者229名	73,100円	匿名(2件)	2,000円・シルバーカー2台

【お問い合わせ】 ボランティアセンター(総合福祉センター8階) 電話 636-1285 FAX 634-2870

ホームページもご覧ください。

平成31
(2019)
年度

ともに支えあい助けあう“向こう三軒両隣型”の地域共生社会の構築を目指して 「社協会費」ご協力のお願い

宇都宮市社会福祉協議会(社協)は、すべての市民の方々が安心して生活できる福祉のまちづくりをめざし、市民の皆さまや各関係機関や団体とともに、身近な地域における福祉活動やボランティア活動を進める民間の福祉団体です。

会費は、全額「皆さまがお住まいの身近な地域」や「宇都宮市全域」での福祉活動に活用させていただきます。

◎使い道(一例)～身近な地域の居場所づくりに～

- ◆ 誰もが気楽に集い交流できる「ふれあいいきいきサロン」
(H31.1 現在 市内284箇所に設置)



撮影 2016年

◎会員の種類と会費

普通会員(各世帯)	300円以上
特別会員(個人)	1,000円以上
団体会員 (社会福祉施設・団体・機関)	5,000円以上
賛助会員 (企業・事業所・個人)	10,000円以上

※社協会費(会員加入)は皆さまの意思に基づくもの(任意)であり、強制するものではありません。

平成30年度は皆さまに
35,248,539円 (H31.2.28現在) の
ご協力をいただきました。



ぎんなん基金

ご協力
ありがとうございました。



皆さまのあたたかい善意に心より感謝いたします。ぎんなん基金は地域福祉事業に活用させていただきます。

平成30年12月28日～平成31年3月24日

寄附順・敬称略

寄附者(団体)	金額(円)	寄附者(団体)	金額(円)
宇都宮海星女子学院中学校・高等学校	30,000	(有)匠堂 栃木美術倶楽部	7,000
栃木県レーザーカラオケ協会 代表 齋藤 侑子	33,910	なかよし善行ネットワーク 代表 宋 美恵 (2回)	6,076
栃木県レーザーカラオケ協会 芳那塩支部 岡田 昇	11,600	第12回宇都宮市民福祉の祭典実行委員会	152,181
黄ぶな愉快プロジェクト	15,000	北宇都宮駐屯地曹友会	21,628
高齢者等地域活動支援ポイント事業利用者(838名)	253,200	ユニー(株)小さな善意で大きな愛の輪募金運動	15,028
築島 時三郎 (2回)	20,000	アピタ宇都宮店 店長 渡邊 哲也	30,000
レーザーカラオケ中央支部 好友会 支部長 及川 ミネ子	20,500	Bandどんぐりころころ	3,000
宇都宮友の会	30,000	平久井 拓也	11,568
カトリック松が峰協会 喫茶部 ぶどうの木	20,000	匿名(5件)	

【お問い合わせ】総務企画課(総合福祉センター1階) 電話 636-1215 FAX 638-9856